

# 研究テーマ:遠隔地間の実時間共同作業システム(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A17027)

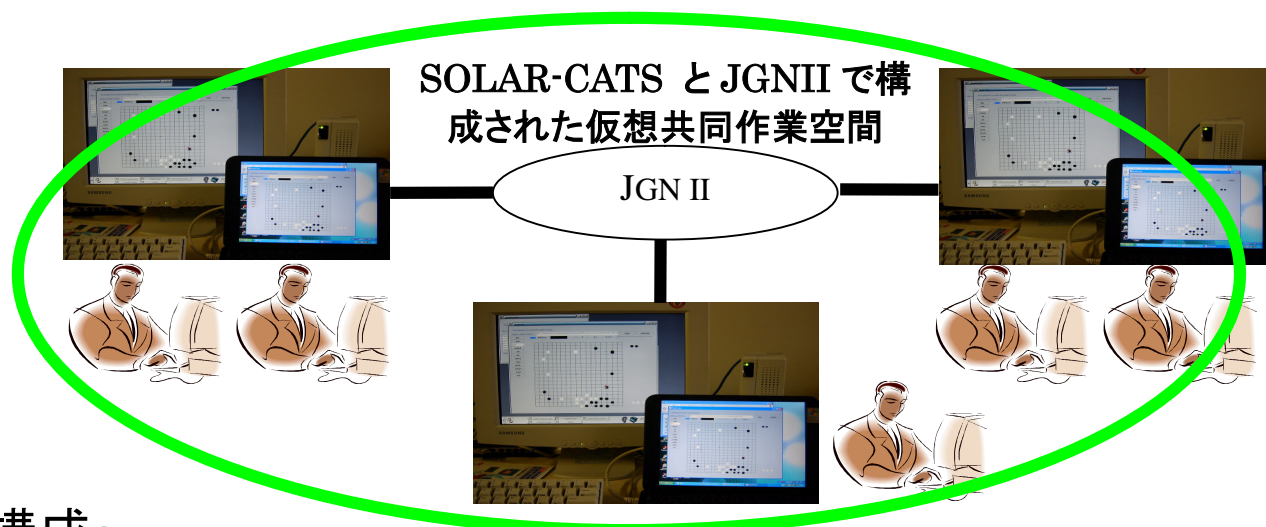
研究機関: 鹿児島大学学術情報基盤センター、株式会社奈良情報システム

研究の概要:

- SOLAR-CATS : P2P 技術を利用して多数の端末の利用者間でその操作を共有可能にした実時間共同作業システム。
- SOLAR-CATS を使って鹿児島大学山之上研究室と、株式会社奈良情報システム間を接続し、遠隔地間で仮想的な共同作業空間を作成する。
- この仮想的な共同作業空間で実際に共同作業を行うことにより SOLAR-CATS の問題点を探り出し、改良を行うと共に、SOLAR-CATS を有効に使う方法に関する研究を行う。
- 北九州とも接続を行い、3地点間以上を接続した場合の共同作業も行う。

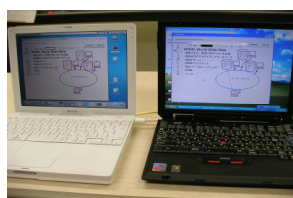
研究の目的:

遠隔地にある地点を実時間共同作業システムで接続して実験を行うことにより、この共同作業システムに関する研究と、この共同作業システムを使った作業に関する研究を行う。



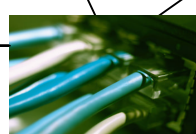
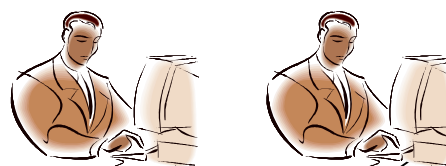
実験機器構成:

SOLAR-CATS を搭載したパソコン



鹿児島

SOLAR-CATS を搭載したパソコン



奈良



JGN

## 研究テーマ: 遠隔地間の実時間共同作業システム(2/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A17027)

研究機関: 鹿児島大学学術情報基盤センター、株式会社奈良情報システム

研究開発成果:

- 特許出願  
P2P 技術を使った電話と放送の融合を実現する通信システムの特許を出願
- 研究会発表  
査読のあるシンポジウムや国際会議などで研究発表を実施
- 実用化  
特許出願を行った技術について実用化にむけ開発中
- 次のステップ  
製品化に向け、新通信システムの改良を継続

プロジェクトのアピールポイント

- 新規性と独自性  
従来の SKYPE などの欠点を克服し、多人数での TV 会議などを実現。
- 必要性  
SIP サーバへの負荷集中などの従来の IP 電話の欠点の克服、電話と放送の融合
- 波及効果と社会的効果  
在宅勤務、在宅学習の高度化、障害者や子供を持つ主婦などの社会参加の加速

プロジェクトの自己評価

- 実際にJGNIIを使ったことにより研究を発展させることができた
- 特許を出願することができた
- 利用促進賞(地域貢献優秀賞)を受賞することができた
- 今後
  - システムの実用化に向けた様々な問題の解決